

# 実施報告書

2024 年度日系社会次世代育成研修  
(中学生招へいプログラム) 第 2 陣

2025 年 1 月 14 日~2 月 6 日



2025 年 3 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

公益財団法人海外日系人協会

# 目次

1. 日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）の概要	2
2. 参加者情報	4
3. 2024年度第2陣 プログラム日程	6
4. プログラム内容	7
5. 引率者（安全・健康管理員含む）の所感	28
引率者                宮田 セリア    （ブラジル）	
安全・健康管理員 本多 由美    （ポリビア）	
安全・健康管理員 岩崎 海      （アルゼンチン）	
安全・健康管理員 足立原 ルミ  （ブラジル）	
6. 総評	29

【参考】2024年度「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）」募集要項

# 1. 日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）の概要

## (1) 研修の沿革および目的

本研修は独立行政法人国際協力機構（JICA）が中南米地域への移住者の定着・安定のために移住者子弟教育として 1987（昭和 62）年度に「日本語学校生徒研修」として開始し、2012（平成 24）年度からは、名称を「日系社会次世代育成研修」、2015（平成 27）年度からは「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）」として実施しています。

本研修では、海外の日本語学校に在籍する成績優秀かつ品行方正で将来の日系社会の発展に貢献するのに十分な素質のある日本語学校生徒が、日本人の海外移住の歴史に関する学習、中学校体験入学、ホームステイ、その他の各種研修を通じて、自分たちのルーツに対する理解と日本に対する理解を深め、さらに自らの日系人としてのアイデンティティの強化を図ることを目的としています。

さらには、本研修が日系社会での日系継承語教育の振興を促し、日系社会の次代を担う人材の育成に寄与することを上位の目標としています。

## (2) 対象国および人数

通常：第 1 陣は 5 カ国 13 名、第 2 陣は 5 カ国 36 名の 10 カ国 49 名（他引率者 2 名）

第 1 陣：カナダ、メキシコ、ドミニカ共和国、コロンビア、ベネズエラ

第 2 陣：ブラジル、ペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチン

2024 年度：第 1 陣は 5 カ国 15 名、第 2 陣は 5 カ国 36 名の 10 カ国 51 名

（他引率者 2 名、安全・健康管理員 6 名）で実施

※新型コロナウイルス感染拡大により、2020～2022 年度に本研修が中止になったことから、その間研修への参加機会を得られなかった高校生相当（16 歳以上 18 歳以下）の子弟を、2023 年度ならびに 2024 年度第 1 陣に関して受け入れています。

### 研修員出身国内訳

受入		対象国	研修員 参加者数	引率者、 安全・健康管理員
第 2 陣	5 カ国 36 名 (引率者 1 名、 安全・健康管理員 3 名)	ブラジル	20 名 (男 7 名、 女 13 名)	2 名 (男 0 名、 女 2 名)
		ペルー	4 名 (男 3 名、 女 1 名)	0 名 (男 0 名、 女 0 名)
		ボリビア	3 名 (男 2 名、 女 1 名)	1 名 (男 0 名、 女 1 名)
		パラグアイ	3 名 (男 1 名、 女 2 名)	0 名 (男 0 名、 女 0 名)
		アルゼンチン	6 名 (男 2 名、 女 4 名)	1 名 (男 1 名、 女 0 名)
		計	36 名 (男 15 名、 女 21 名)	4 名 (男 1 名、 女 3 名)

### (3) 研修期間

現地の学校事情に合わせ、上記(2)のとおり2グループに分けて実施しています。

第1陣：毎年度6月第2～3週から24日間程度

第2陣：毎年度1月第2～3週から24日間程度

### (4) 研修概要

プログラム	内容	研修場所
移住学習	海外移住資料館の見学 移住に関する講義、ワークショップ 各研修員のルーツを探る	JICA 横浜 史跡、博物館等
体験入学	授業出席 部活動 日本の中学生との交流等	横浜市内の中学校
ホームステイ	日本での実生活体験 ホストファミリーとの交流	神奈川県近郊の各ご家庭
研修旅行、 所外研修	神社仏閣・城の見学、日本文化体験、 社会教育施設・博物館等の見学	関西方面、 神奈川県近郊
その他	プレゼンテーション指導 作文指導 研修報告会	JICA 横浜

## 2. 参加者情報

No.	国名	所属日本語学校名 /所在地	①日本で体験したいこと ②趣味・特技等	得意な 学科
1	ブラジル	ひまわり学園 /南マットグロソ州カンポグランデ市	①日本料理を食べたい、スタジオリ美術館と奈良公園へ行きたい ②アニメ、マンガ、工作	-
2	ブラジル	ひまわり学園 /サンパウロ州サンパウロ市	①雪・日本の学校が見たい、日本文化をもっと知りたい、日本人と話したい ②ガールスカウト、読むこと、絵を描くこと、泳ぐこと	-
3	ブラジル	ロンドリーナ・モデル校 /パラナ州ロンドリーナ市	①お寺を見たい、大学を訪問したい、日本の料理を食べたい ②チェス、将棋	科学
4	ブラジル	ピラール・ド・スール日本語学校 /サンパウロ州ピラール・ド・スール市	①日本の学校に通ってみたい、たくさん友達を作りたい、日本語を使いたい、おいしい食べ物を食べたい ②陸上、太鼓	-
5	ブラジル	アプカラナ日本語学園 /パラナ州アプカラナ市	①渋谷に行ったり、たこ焼きを食べたりしたい ②料理、ダンス、ゲーム	歴史
6	ブラジル	スザノ金剛寺学園 /サンパウロ州スザノ市	①お寺や神社の見学、渋谷と大阪の訪問 ②音楽を聞くこと	数学 英語
7	ブラジル	アラサツバ日本語普及センター /サンパウロ州アラサツバ市	①日本の学校を見ること ②アニメを見ること	数学 科学
8	ブラジル	モジ・ダス・クルーズモデル校 /サンパウロ州モジ・ダス・クルーズ市	①新幹線に乗ってみたい、雪が見たい、同じ年の子と話したい ②バレーボール	英語
9	ブラジル	むつみ /サンパウロ州サンパウロ市	①プロ野球の試合を見たい、スキーをしたい ②野球	数学
10	ブラジル	クリチバ日伯文化援護協会日本語講座 /サンパウロ州クリチバ市	①茶道、日本の学校に行ってみよう、海外移住資料館に行ってみよう ②太鼓、空手、絵を描くこと	生物学
11	ブラジル	ロンドニア州日伯文化協会日本語教室 /ロンドニア州ポルト・ヴェーリヨ市	①雪を見たい、日本人の友達をつくりたい、和菓子を食べたい ②チェス、バレーボール、ピアノ	数学
12	ブラジル	マナウス日本人学校 /アマゾナス州マナウス市	①日本人と会話すること、文化、有名な場所を知ること、日本食を食べること ②バスケットボール	数学
13	ブラジル	ゴイアス日本語モデル校 /ゴイアス州ゴイアニア市	①日本庭園を見たり、お寺や神社に行ったり、日本文化を体験したい ②チェス、バレーボール	かがく 歴史
14	ブラジル	ブラジリア日本語モデル校 /ブラジリア連邦直轄区ブラジリア市	①サッカー・野球を見たい、牛丼を食べたい、雪を見たい ②サッカー、ゲーム	-
15	ブラジル	ミナス日本語モデル校 /ミナスジェライス州ベロオリゾンテ市	①踊りを見たい、ラーメンを食べたい、金閣寺に行きたい ②踊り、音楽	歴史
16	ブラジル	リオデジャネイロ日本語モデル校 /リオデジャネイロ州リオデジャネイロ市	①うどんを食べたい、コンビニへ行きたい、富士山を見たい ②バレーボール、絵を描くこと	-
17	ブラジル	レシフェ日本語学校 /ペルナンブコ州レシフェ市	①日本の子と友達になり彼らをブラジルに招待したい、大学は日本で勉強することができるかどうか自分で確かめたい ②バレーボール、歌うこと、日本の歴史	-
18	ブラジル	レシフェ日本語学校 /ペルナンブコ州レシフェ市	①富士山を見たい ②スポーツ	-
19	ブラジル	トメアス日本語学校 /パラ州トメアス市	①親戚に会いたい、日本のおにぎりが食べたい、電車に乗りたい ②サッカー、空手	数学
20	ブラジル	越智日伯学園 /パラ州ベレン市	①富士山を見たい、うどん・すしが食べたい、京都へ行きたい ②作文、本を読むこと、ダンス	国語 理科

No.	国名	所属日本語学校名 /所在地	①日本で体験したいこと ②趣味・特技等	得意な 学科
21	ペルー	ラ・ウニオン ペルー日系人学校 /リマ州リマ市	①日本の伝統的な場所とモダンな場所に行きたい、日本の文化をもっと知りたい、日本人の学生たちと交流したい ②空手、ローラーブレード、ルービックキューブ、日本の漫画とアニメ、読書	-
22	ペルー	ラ・ウニオン ペルー日系人学校 /リマ州リマ市	①陶芸、絵画、テニス ②テニス、絵画（描くこと）	-
23	ペルー	ラ・ウニオン ペルー日系人学校 /リマ州リマ市	①実際の文化を体験したい ②ソフトボール	国語 体育
24	ペルー	APJ教育部日本語科 /リマ州リマ市	①お寺を見学したり、温泉に入ったり、日本語が上手になったり、雪を見たりしたい ②ゲーム、サッカー	日本語
25	ボリビア	オキナワ第一日ボ学校 /サンタクルス県ウルネス郡	①日本の文化を学びたい ②料理、音楽を聴くこと	生物学
26	ボリビア	サンタクルス日本語教室 /サンタクルス県サンタクルス市	①剣道や書道など日本の文化を体験したい ②水泳、SUDOKU	数学 化学
27	ボリビア	サンファン学園 /サンタクルス県サンファン市	①試合観戦、部活 ②スポーツ	体育 英語
28	パラグアイ	アスンシオン日本語学校 /アスンシオン市	①日本人の暮らし方、自分の日本語力を試す ②音楽、ダンス、折り紙	-
29	パラグアイ	エステ日本語学校 /アルトパラナ県エステ市	①中学生との交流と授業への参加 ②音楽鑑賞	英語
30	パラグアイ	アスンシオン日本語学校 /アスンシオン市	①雪合戦、こたつに入ってみたい、温泉に入ってみたい ②野球、バレーボール	数学 体育
31	アルゼンチン	ラプラタ日本語学校 /ブエノスアイレス州ラプラタ市	①中学校の生徒たちと話しをしたり、授業や部活を体験したり、自然に恵まれた歴史と文化の町で歩いてみたい ②卓球、音楽	英語
32	アルゼンチン	ブルサコ日本語学園 /ブエノスアイレス州ブルサコ市	①サッカー、卓球、観光、文化交流 ②サッカー、卓球	英語 数学
33	アルゼンチン	ブエノスアイレス日亜学院 /ブエノスアイレス市	①食べ物、文化、人々、マナー ②日本語	国語、数学 体育、地理
34	アルゼンチン	アルトパラナ日本語学園 /ミシオネス州ハルディン・アメリカ市	①日本の中学生達またはいろいろな国の人達との交流、日本舞踊、太鼓、雪だるま作り ②音楽鑑賞、ダンス	算数
35	アルゼンチン	サルミエント日本語学校 /ブエノスアイレス州ホセ・セ・パス市	①日本の文化と日本人の生活 ② -	数学 生物
36	アルゼンチン	フロレンシオバレーラ日本語学校 /ブエノスアイレス州フロレンシオ・バレーラ市	①日本の教育から学ぶ、他の生徒と会いたい ②サッカー、ゲーム、ピアノ、カラオケ	-

引率者	ブラジル	アラサツバ日本語普及センター 日本語教師・コーディネーター /サンパウロ州アラサツバ市
安全・健康管理	ブラジル	ロンドリーナ・モデル校 日本語教師 /パラナ州ロンドリーナ市
安全・健康管理	ボリビア	サンファン学園 日本語教師・日本語科主任 /サンタクルス県サンファン市
安全・健康管理	アルゼンチン	フロレンシオバレーラ日本語学校 日本語教師・校長 /ブエノスアイレス州フロレンシオ・バレーラ市

# 3. 2024年度第2陣 プログラム日程

2024年度JICA日系社会次世代育成研修 (中学生招へいプログラム) 第2陣 日程

つき	ひ	ようび	ご ぜん				ご ち				よる	び ころ	
			あさ かい	げん	げん	げん	げん	げん	げん	げん			ゆうがた かい
日	曜日		朝の会	1限	2限	3限	4限	5限	6限	夕方の会	ミーティング	備考	
			9:30	9:40-10:30	10:40-11:30	11:40-12:30	14:00-14:50	15:00-15:50	16:00-16:50		20:00~		
1月	14	か	らいにち きょうざい びひん はいふ じこしょうかい さいすん 来日 (教材・備品の配布・自己紹介、うわばき採寸など)								なし	ホテルナビオス チェックイン	
	15	すい	あさ かい	らいにち 来日プリーフィング けんこうかんり 健康管理プリーフィング	かいこうしき 開講式	らいにちじ 来日時アンケート、目標 設定、 たいげんにゆうかくじゆんが 体験入学 準備 (プレゼンテーション資料 確認)	ゆうがた かい	夕方の会	○				
	16	もく	しょうがいけんしゆう ごぜん かがくまじゆつ りかい ごと かつどう 所外研修 (午前：科学技術の理解、午後：チームビルディング活動)								○		
	17	きん	あさ かい	いじゆうがくしゆ 移住学習 ①						ゆうがた かい	夕方の会	なし	
	18	ど	きゅうじつ	きぼうしや よこはまのへん さんさく 休日 (希望者でJICA横浜周辺を散策します)								なし	なぐりこうせい 福利厚生①
	19	にち	きゅうじつ	休日								○	
	20	げつ	あさ かい	ちゅうがっこう たいげんにゆうかくじゆんが 中学校 体験入学 準備 (オリエンテーション)	けんしゆりょうこう じぜんがくしゆ 研修旅行 事前学習	パッキング・ にもつじゆんが 荷物準備	にもついでう 荷物移動	○					
	21	か	けんしゆりょうこう おおさか 研修旅行 (大阪)								○	ホテルナビオス チェックアウト/朝 りょうこうさき しゆくはく 旅行先で宿泊	
	22	すい	けんしゆりょうこう きょうと 研修旅行 (京都)								○	りょうこうさき しゆくはく 旅行先で宿泊	
	23	もく	けんしゆりょうこう こうべ いじゆうがくしゆ 研修旅行 (神戸) ※移住学習 ②								○	ホテルナビオス チェックイン/夜	
	24	きん	あさ かい	にほん まな 日本で学ぶ	ちゅうがっこう じぜんあいさつ 中学校 事前挨拶	ゆうがた かい	夕方の会	○	ホームステイ オリエンテーション				
	25	ど	ホームステイ								なし	ホストファミリーのお家で宿泊	
	26	にち	ホームステイ								○		
	27	げつ	あさ かい	ほうもんじゆんが 訪問準備など	ちゅうがっこう ほうもん みなみちゅうがっこう 中学校 訪問 (南 中学校)	ゆうがた かい	夕方の会	○					
	28	か	ちゅうがっこう たいげんにゆうかく おおとり なかおだい ほんちく みねと よこはまよしだ ちゅうがっこう 中学校 体験入学 (大鳥・仲尾台・本牧・港・横浜吉田 中学校)								○		
	29	すい	ちゅうがっこう たいげんにゆうかく おおとり なかおだい ほんちく みねと よこはまよしだ ちゅうがっこう 中学校 体験入学 (大鳥・仲尾台・本牧・港・横浜吉田 中学校)								○		
	30	もく	ちゅうがっこう たいげんにゆうかく おおとり なかおだい ほんちく みねと よこはまよしだ ちゅうがっこう 中学校 体験入学 (大鳥・仲尾台・本牧・港・横浜吉田 中学校)								○		
	31	きん	あさ かい	こくご さくぶん か 国語 (作文の書きかた)	ほうこくしよ さくせい さくぶん 報告書 作成 (作文)				ゆうがた かい	夕方の会	なし		
	2月	1	ど	きぼうしや よこはまのへん さんさく 休日 (希望者で横浜近郊を散策します)								なし	なぐりこうせい 福利厚生②
		2	にち	休日								○	
		3	げつ	あさ かい	ほうこくしよ さくせい さくぶん せいしよ 報告書 作成 (作文の清書)	ほうこくかい じゆんが 報告会 準備① プレゼンテーション作成	ゆうがた かい	夕方の会	○				
4		か	あさ かい	きこく 帰国プリーフィング・ きこくじ 帰国時アンケート	ほうこくかい じゆんが ほうびやう れんしゆ 報告会 準備② 発表 練習	にもつ じゆんが にもつ 荷物 準備/荷物 計量	○	いんそつしや ほうこくかい 引率者 報告会					
5		すい	あさ かい	ほうこくかい じゆんが 報告会 準備③ リハーサル		(14:00-16:00) けんしゆりょうこう ほうこくかい 研修員 報告会	(17:00-17:30-18:00) へいこしき そらべつかい 閉講式・送別会	○	けんしゆりょうこう ほうこくかい ※ペルー研修員は、朝:ホテルナビ オス チェックアウト、夜:帰国				
6		もく	きこく いがい 帰国 ※ペルー以外								-	ホテルナビオス チェックアウト	

## 4. プログラム内容

### 来 日

2025年1月14日（火）

研修員 36 名と引率者 4 名が、ブラジル、ペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチンの 5 か国から来日しました。

それぞれの国から成田空港・羽田空港へ到着した研修員たち。自宅を出発したのは 1 月 12 日だったのに、日本はもう 14 日でした。タイムスリップ！？いえ、日付変更線をまたいだのです。家族と離れて初めての長旅でしたがみんな笑顔です。

最後のグループが宿泊ホテルに着いたときには夜も更けていたけれど、明日から着るユニフォームをもらって、わくわくしながら何十時間ぶりかのベッドで就寝しました。



### 開講式

2025年1月15日（水）

一夜が明け、まずはこの研修を安全、健康に過ごすためのブリーフィングを受けたら、さっそく開講式です。

開講式は JICA 横浜センター植木雅浩次長の挨拶からはじまり、日頃から一生懸命日本語を勉強してこの研修に参加する皆さんを歓迎するとの言葉をもらいました。

また、この研修における3つの大事なことについてお話がありました。それは、

- ① この研修が横浜で行われる理由
- ② 日本が日系社会、日系人のみなさんに期待していること
- ③ この研修でみなさんに学んでいただきたいこと

です。これまでの努力が実りこの場にいるうれしさをかみしめるとともに、それぞれが日系コミュニティの代表なのだという気持ち加わりました。

そして研修員から、一人ひとり自己紹介をしました。好きなことや得意なこと、この研修で楽しみにしていることや日本で頑張りたいことなどについて、大きな声でしっかり発表することができました。



## 研修目標設定・体験入学準備など

2025年1月15日(水)

- グループ(生活班)に分かれて顔合わせ。班長/副班長/パトロール係/先生お助け係/音楽係/タイムキーブ係を決めたあと、グループ名をみんなで考えました。

いちごー  
—go!



にわとり



パスポート



もも



ジンジャーエール!!

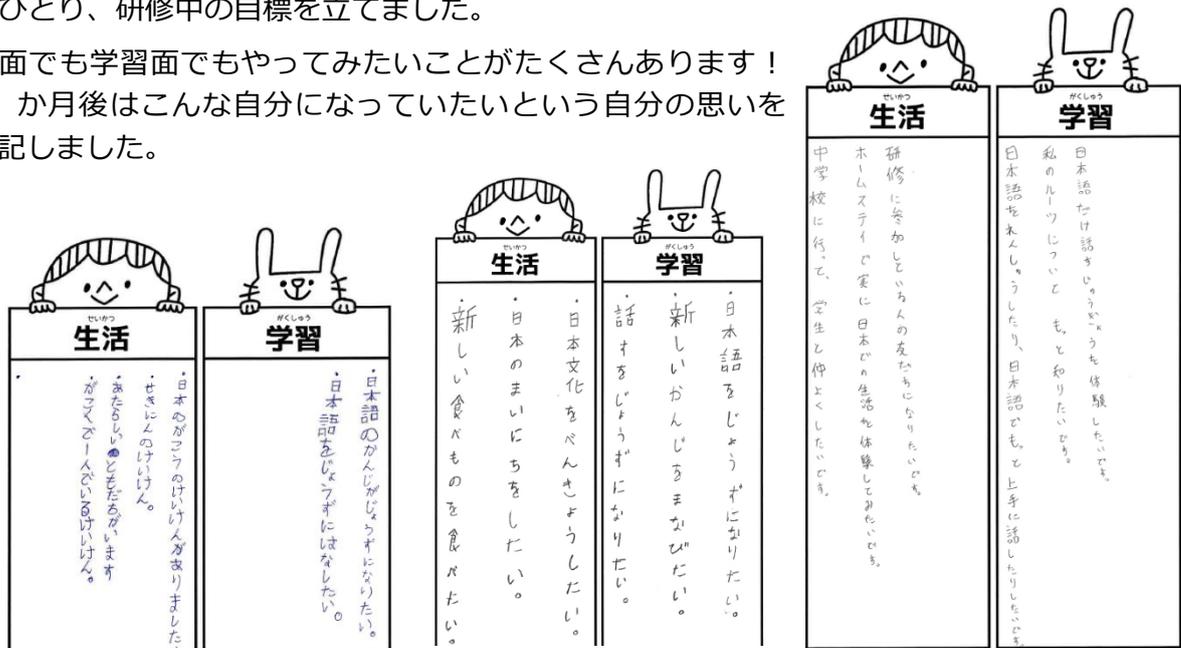


すし



- 一人ひとり、研修中の目標を立てました。

生活面でも学習面でもやってみたいことがたくさんあります！  
約 1 か月後はこんな自分になっていたいという自分の思いを書き記しました。



- 横浜市の公立中学校に体験入学するための準備をしました。

### 準備 その 1 一緒に登下校する仲間を確認！

- 3 日間の体験入学では、中区の 5 つの中学校に分かれてお世話になります。一緒に登下校するメンバー同士あつまって初顔合わせ。
- みんなで話し合っ、リーダーとサブリーダーを決めました。

### 準備 その 2 日本の中学校のルールを知る！

- 日本の中学校のルールについて学びました。
- 自分の国の学校との共通点や相違点、また、どうしてこのようなルールがあるのか、ルールがあることでどんな良い面があるのか、などを考えました。

### 準備 その 3 自己紹介プレゼンテーションを予行練習！

- 中学校に行ったら、パソコンなどを使って自己紹介する時間をいただいています。来日前に作ってきたプレゼン資料を使って、予行練習しました。
- 練習の様子をお互いに見ることで、自分のプレゼンテーションに足りない点などに気づくことができました。少し手直しをして、中学校での本番に臨みます。

今日是一日、所外研修です。午前中は日本科学未来館(東京都江東区)、午後は国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)へみんなでバスに乗って移動しました。

科学技術の理解

## 日本科学未来館

先端の科学技術を体験できる国立のサイエンスミュージアム。ロボットや人工知能、生命科学、地球環境、宇宙などのテーマにおいて、科学は未来をどう変えるのか？私たちは未来に何ができるのか？

など考えながら見学しました。

研修員からは「地球に住んでいることは安全じゃないことに気づきました。」「iPS細胞について勉強しました。すごい細胞です。たくさんの細胞の種類になれます。医者になりたいから楽しかった。」「特に「老化について、というのは学校であまり勉強したことが無かったのでごく印象に残りました。そのエリアにあった機械で老化後の変化を体験させていただいて、改めてまわりの高齢者の方々のことを考えさせられました。」「展示を見たあとはもっと知りたいと考えました。」などの感想がかけられました。



チームビルディング

## YCAP: Youth Center Adventure Program

国や地域を越えて集まった36名の研修員たち。話す言葉もばらばら、まだお互いの名前も分かりません。でも色々なゲームや活動を通して緊張や不安はほぐれていき、いつのまにか仲間になっていました。

南米とは真逆の冬の寒さを全身で感じながら、体を使った活動を楽しみました。

様々な課題に仲間とともにチャレンジしながら、お互いのことをもっとよく知り、約1か月の研修をこのチームでどう過ごしていけばよいか考えました。誰かに困ったことが起きた時、助け合えるということを体験から学びました。





## 研修員の振り返りから ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ◇ 今日はとてもたのしかったです。先生はおもしろいです。いろいろなグループかつどうをしたのでこれからみんなグループがなかよくなれるといいです。
- ◇ 楽しいゲームのおかげでだいぶ近づきました。言語はちがっても、日本語で話したから仲よくなった。それでもまだ話したことがない人がいます。その人と話したい。
- ◇ 活動はちょっとむずかしかったですが、とても楽しかったです。
- ◇ そとでのかつどうはさむかったけど、あたらしい人と話してよかったです。
- ◇ 自分から喋りかけること。困ってたら手伝えること。いろいろな思い出ができてみんなと仲良くなることを出来るようになった。
- ◇ みんなと仲良くなれるかとても心配でしたが、たくさん体を動かし、いろんなゲームをして言葉があまり通じない人たちとも仲を深められたと思います。めちゃくちゃ楽しい1日でした。36人のグループがこの研修でもっともっと仲良くなり沢山の思い出ができたらいいなと思います。

## 移住学習 その1 -横浜-

2025年1月17日(金)

- 午前中はまず、移住と横浜との関連性や、日本人がどのように移住していき、移住先国で日本人の国民性がどのように受け入れられたか等をクイズ形式で学びました。

こたえの選択肢は4つ。果たして正解は…!!!!



- 次に、JICA 横浜センター2 階にある海外移住資料館で、日本人の海外移住について学ぶ上で重要なキーワードとなる展示資料を探し出すアクティビティ「宝探し」を行いました。宝探しを通し、当時の日本人移住者の生活や体験に深くかかわった道具や資料を通して海外移住の歴史について学ぶことができました。
- 研修員はあらかじめ家族や親戚にインタビューを実施し、内容をまとめて来日しています。それをもとに家族の生まれた都道府県を探し、各都道府県からどのぐらいの人々が海外へ移住したのか、自身のルーツとなる地域について調べ理解を深めました。



- 午後には、JICA 横浜の周りを歩いてフィールドワーク。戦後、日系人や救援団体が戦後混乱期の日本に救援物資を送ろうと行動した「ララ物資」の記念碑、日本人のペルー移住 100 周年を記念し設置された「リマちゃん」像、日本ブラジル修好 100 周年記念の「虹の架け橋」など、たくさんの移住関連記念碑を視察した研修員は、この研修がなぜ横浜で実施されているのか、横浜と移住のつながりについてさらに学びを深めました。



### 戦後の日本を支えてくれた ララ物資

第二次世界大戦後の日本では、みんなが食べるものや着るものに困っていました。そんな日本人たちにララというグループから食べ物や服、薬、靴や文房具などが届きました。ララは Licensed Agencies for Relief in Asia を短くした言い方です。アメリカ人をはじめ、移住した日系人が 1946 年から 1952 年までララ物資を送ってくれました。ララからのおくりものが最初に届いた横浜の港にはララの記念碑があります。



□ この日の最後には、各自が来日前に取り組んだ事前学習課題をグループで発表しました。異なる国や地域に住む研修員同志、  
「家族の移住の歴史をもつ、ことや、また日本人移住者によって各国に広がり現代まで受け継がれてきた日本文化を共有し合ったことで、研修員はお互いに共通点を見出し、日系人同士の横のつながりも感じることができました。



□ グループ発表では、同時期に JICA 横浜で実施されていた日系社会研修「日系継承教育（教師育成 I）」コースの研修員がそれぞれファシリテーターを務めてくれたことで、全員がしっかりとアウトプットやフィードバックの機会を持つことができました。



同コース内で「移住学習」について学んでいた教師育成 I コースの研修員にとっても、中学生研修員たちの家族の移住史を知ったり、また家族の移住史について中学生世代の日系人がどんなふう考えているのか、その想いを知ることができたことは、双方にとって非常によい取り組みとなりました。

## 研修員の振り返りから ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ◇ 今日は移住についてもっと学びました。授業でクイズをしたり移住の歴史について勉強しました。あとで私たちが作ったパワーポイントをグループでプレゼンテーションしました。祖先について話したとき、曾祖父のことをとても誇りに思いました。
- ◇ 新しいことばをたくさん学びました。たとえば、移住、歴史、受け継ぐ、日伯。
- ◇ むかしよこはまからでたふねといじゅうのことをききました。ちょっとむずかしかったです。でも、私は今からそのことをもっとべんきょうしたい。
- ◇ たからさがしに答えて、移住学習をしました。とても勉強になりました。
- ◇ 皆は自分の家族のルーツを紹介しました。ほかの国の移民の話を聞いて、すごく勉強になりました。
- ◇ 私はクイズの質問三つしかあたらなかった。でも、そんな楽しい方法で移住のことをもっと知るようになりました。
- ◇ このじゅぎょうのあと、私のせんぞのことをもっとそんけいしました。
- ◇ いみんについてたくさんならったから、今日の授業はとても楽しかったです。
- ◇ 日本の移民のむずかしさやいいことなどに関してもなりました。
- ◇ 楽しく学べるように、先生は私たちにたくさんクイズを作りました。みんな答えにとってもびっくりしました。
- ◇ ブラジルに帰ったら、日本文化を守って続けたい。
- ◇ せかいじゅうに日系人がたくさんいておどろきました。新しい国と新しい文化の生かすは移民のためにとってもむずかしかったと思いました。それから、日本人はブラジルに柿やほかの果物を持っていきました。日本の文化はせかいにとってもたいせつだと思いました。
- ◇ みんなの家族の移住に関する取り組みが発表されました。友達の親戚の話を聞いて幸せな気持ちになりました。友達の家族について勉強しました。
- ◇ 日本人のじんせいにはむずかしかったです。父と母のおじいさんとおばさんはとても強かったとおもいます。みなさんはいいプレゼンテーションをしました。おじいちゃんとおばあちゃんにはやくあいたいです、父と母にも。
- ◇ 今日リマちゃんを見たときに、ペルーでさくらちゃんにあったことをおもいだしました。
- ◇ 移住当時のことを学びました。これからの日系社会のために、移住者たちのように、次の世代のためにがんばろうと思います。

# 研修旅行

2025年1月21日(火)～23日(木)

## 事前学習 1月20日(月)

研修旅行で訪れる場所について授業を受けたあと、グループにわかれて調べ学習をしました。「授業がすごく楽しかった。」「ことばや場所の由来を知っておどろきました。」「日本の歴史について学び、今日は幸せでした。」などの声が聞かれました。

旅行に行くのがますます楽しみになりました。



1日目  
大阪

大阪城見学

いよいよ研修旅行の日がやってきました。新横浜駅から新幹線に乗って約2時間半。その速さにはびっくりしました！あいにくの曇り空で富士山は見えませんでした。駅弁を食べながら車窓から見える日本の風景を堪能しました。

新大阪駅からバスに乗り換え約15分。近代的なビルが立ち並ぶ大阪の街に、美しい大阪城が見えてきました。「攻撃を防ぐ建築、昔の服、歴史などについて展示されていて興味深いと思いました。」「すべてが美しかったです。」などのコメントが聞かれました。なかには、城内は入れないものだと思っていたので、入れてうれしかったという研修員もいました。



2日目  
**京都**  
 神社仏閣見学  
 干菓子づくり体験



京都では、金閣寺、清水寺、伏見稲荷大社など歴史的な建造物や日本の神社仏閣をめぐりました。

金閣寺では、自然を守りながら保存されている点も含めてその美しさをたたえる研修員が多くいました。

また清水寺では、清水の舞台や眺めの素晴らしさもさることながら、「音羽の滝」も人気でした。それぞれご利益の異なる三本の水 flow から1つを選んで飲むと願いが叶うと言われており、研修員の一番人気は「学業成就」でした！（あとの2つは「延命長寿」と「恋愛成就」）



この日、さいごに訪れた伏見稲荷大社。時間があまりなく、駆け足での千本鳥居見学となりました。

いつかまたここを訪れたいという気持ちを胸に、鳥居を後にしました。



このほか京都では、日本の伝統菓子「干菓子、づくり体験に参加。専門の職人の製作による本格的な木型を使って、花や紅葉、千鳥など和柄の干菓子を完成させ、抹茶と一緒に味わうことができました。

干菓子づくりに使用されるのは日本独自の砂糖「和三盆」。香川県と徳島県でしか採れないことや、型抜きのコツなどを分かりやすく教えて頂きながら体験を楽しみました。これまで饅頭や羊羹などの和菓子なら食べたことがあるという日系研修員も干菓子はみんな初めてで、砂糖だけで作られた干菓子の美味しさに感動！家族への良い土産話にもなりました。



3日目  
神戸  
海外移住と文化の  
交流センター見学

移住学習 その2 -神戸-

神戸では「海外移住と文化の交流センター」を訪問。ここは「国立移民収容所」として南米に移住する人たちが準備のため実際に宿泊していた場所です。以前は長崎と横浜にも移住者が宿泊した場所がありまし

たが、現存している建物はここ神戸だけとなりました。

併設のミュージアムで展示解説を聞いた後、ワークシートをつかって調べ学習。研修員は、移住前にはどのような準備がこのセンターで行われていたのか、船内を模したベッドなど展示物から想像し、当時の移住について考えを巡らせました。



見学後は、神戸港までの道のり（移住坂）を徒歩でたどり、かつての移住者たちがどんな気持ちでそこを歩いたのか思いをはせました。

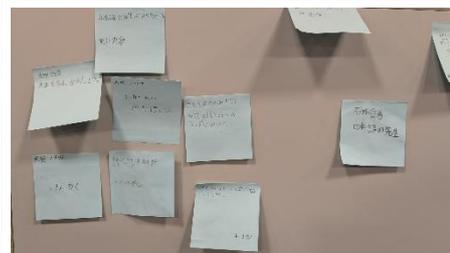


## 研修員の振り返りから ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ◇ 移住した人の船、仕事、くろうしたこと、うれしかったことについてもっとしらべました。私の祖先はブラジルでくろうがたくさんありました。だから、時々心がいたくなりました。説明があったように、私の曾祖父母は労働者としてあつかわれました。かなしいかもしれないけど、とてもほこらしく思い尊敬します。
- ◇ あとで移住した人の道のあるきました。日本移民がどうやってこの道のあるいたのか私にはわかりません。不安だったかもしれません。曾祖父母は私が生まれる前に亡くなりました。だけど今日は曾祖父母のことをもっと知ることができた気がします。
- ◇ 私が一番気に入ったのは、曾祖父母とおなじみちをあゆむことでした。私にとって ひいおじいちゃんといいおばあちゃんがとおったみちをたどったので、それはいんしょうてきなけいけんでした。
- ◇ 港までの道がとても長かったので、驚きました。
- ◇ おじいちゃんたちが通った道を歩いて、行くことに苦労し、物を運ぶだけでも大変だったんだなと思いました。
- ◇ 一番おどろいたことはほぼ一週間でじゅんびしてみんな南米に行ったことでした。自分が同じたちばなら、もうあきらめていたと思います。そんなじょうきょうのなかで3百万人いじょうも南米にこれたことにかん心しました。
- ◇ 長い道で、移住した人たちがどんな気持ちでそこを歩いたか考えていると、楽しみでドキドキな気持ちや、少し不安で悲しい気持ちも出てきました。
- ◇ 日本人はとても勇敢だとおもいました。
- ◇ 去年ブラジル・サントスで移民の彫像を見ました。そして今日は神戸の彫像を見て、楽しかった。

ブラジル、ペルーから現在留学中の日系の先輩たち 3 名が講師となり、日系アイデンティティと将来の夢について考えるアクティビティやワークショップをしてくださいました。

また、日本で学ぶ方法として、JICA 日系社会リーダー育成事業をはじめとした各種スカラーシップ制度などの選択肢があることを知りました。



## 研修員の振り返りから

- ◇ 先輩たちは僕たちに「人生」がテーマのアクティビティをしてくれて、とても楽しめました。
- ◇ たくさんゲームをして、けん玉が一番むずかかった。
- ◇ 私たちのゆめについて、とてもかんがえさせられたと思います。
- ◇ 夢をかなえるために、いっぱいがんばることが必要だと習いました。
- ◇ 日本で学べることをたくさん知りました。大学留学プログラムにとってもきょうみがありました。いつか日本にもどれるようにがんばって勉強します。
- ◇ 日本の大学で勉強したいと思いました。
- ◇ 自分の国に帰ったあとで、何をしなければならないか分かりました。

# ホームステイ

2025年1月25日(土)～26(日)

研修員全員が楽しみにしていた1泊2日のホームステイ！

限られた時間ではありましたが、日本の日常生活を体験しながら楽しく交流できるようにと、ホストファミリーのみなさんが工夫を凝らして迎えてくださいました。

一方研修員の何人かは、ホストファミリーに自国の料理やお菓子をふるまいたいと、レシピを覚え材料などを持参して来日。テーブルを囲んでお話も弾んだようです！

こうして研修員はかけがえのない2日間を過ごすことができました。温かく受け入れてくださったホストファミリーのみなさんに心からの感謝を申し上げます。



## 研修員の振り返りから ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ◇ この二日間はとてとくべつでした。よるごはんにおとうさんがたこ焼きとおこのみやきをつくりました。とてもおいしかったです。家族のみなさんはとてもやさしかったです。おかあさんはいつもブラジルのことをしつもんして、私はこたえることが楽しかったです。
- ◇ 私は兄弟がいませんから、女の子二人と遊んだり話したりするのが大好きでした。家族とたくさん話をしたり、じこしょうかいしたりしました。ブラジルの文化や食べ物についてたくさん話しました。おみやげもあげたり、子どもたちといっしょにブリガデイロを作りました。家族もとてもおいしかったとよろこんでいました。朝ごはんは魚とごはんのみそしるでした。お父さんの料理はすごくおいしい！ホストファミリーがいなくなるとさびしくなるよ！
- ◇ ホームステイは本当に楽しかった。たくさん日本語で話したので、楽しすぎました。
- ◇ 浅草寺でおみくじをひきました。
- ◇ たくさん学んできた日本のほんもの文化としゅうまつを楽しみました。たとえば、料理、ラーメン、すきやきとおすしです。日本の家、おんせんと町に行きました。これはかなったゆめみたいですよ。
- ◇ ホームステイの家族は皆やさしくて、私の緊張はいなくなりました。
- ◇ 家族と一緒にたくさん日本語を話しました。もっとうまくなりました。
- ◇ ロボットウェイトレスがいるレストランに食べに行きました。
- ◇ ぼくはふとんをつかかっておどろきました。そして、おふろは、かぞくのみなさんがおなじ水をつかう。いいけいけんでした。
- ◇ 家族にまた会いたい。
- ◇ このしゅうまつはすばらしかったです。箱根に行きました。雪を見ました。雪を見たことがあります、だからとてもうれしかったです。
- ◇ 日本人のかぞくのいちにちをみて、ブラジルのとちがうとおもいました。私もブラジルについてしょうかいして、ホストファミリーがしらなかったことがたくさんありました。
- ◇ ボリビアの食べ物を作って食べてもらいました。みんなおいしく食べてくれました。
- ◇ 文化や習慣がパラグアイとまったく違うことに気づきました。はじめてふとんにねたり、豆まきをしました。私にとって新しいことで、とても楽しかったです。
- ◇ すばらしいおもいでとして私の心にのこります。そしてまたいつかあいたいです。

## 中学校一日交流(南中学校)

2025年1月27日(月)

コロナ禍の時期に実施したオンライン交流をきっかけに交流のつづく横浜市南区の南中学校。今年の冬も研修員全員で訪問し一日交流させていただきました。

初めはモジモジしていた研修員たちでしたが、お昼休み、校庭でサッカーやバレーボールをする生徒たちを見るとウズウズ。自然と輪に入っていました！

36人を全員まとめて歓迎してくれた南中学校のみなさん、ありがとうございました!! この日のことは研修員みんなの共通の思い出になりました。



## 研修員の振り返りから ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ◇ 校長先生も先生たちもとてもやさしかったですし、私たちをよくかんげいしてくれました。
- ◇ はじめはきんちょうしていましたが、クラスのふんいきをみたあと、リラックスしました。
- ◇ プレゼンをして、横浜のことと私たちの国について、おたがいにもっと知れてよかったです。
- ◇ 一日中とても楽しかったですが、一ばん好きだったのは剣道のぶかつでした。すこしむずかしかったですが、とても楽しかったです。みんなとてもやさしかったです。
- ◇ ぶかつどうでわだいこをはじめてして、むずかしかったです。でもかれらはしんせつでしんぼうづよくおしえてくれてすごくよかったです
- ◇ みじかい時間でも楽しかったです。もっと日本の文化を学びました。ブカツでやっとう将棋と囲碁をみつけた。たくさんあそんだ。みんなやさしかったです。
- ◇ 新しい日本人の友だちができました。この学校が本当に気に入りました。
- ◇ この人たちともう一度会いに行きたい！ 南中学校がだいすき。とてもたのしかったです。
- ◇ クラスのみんなはとてもやさしかったです。先生たちも私たちをとてもあたたかくむかえてくれました。
- ◇ 今日のことはけっしてわすれません。私のじんせいでさいこうの日の一つでした。

# 中学校体験入学(中区5校)

2025年1月28日(火)～30(木)

## 事前挨拶

1月24日(金)

体験入学1週間前に事前挨拶にうかがいました。緊張もあったけれど、先生方がとてもやさしくて、登校するのがとても楽しみになりました。学校への道順や公共交通機関の乗り降りのしかたも覚えめました。

横浜市中区の大鳥中学校、仲尾台中学校、本牧中学校、港中学校、横浜吉田中学校の5校に体験入学をしました。

日本に来てもう2週間がたち、日本語での会話にもずいぶん慣れました。うん、きっと大丈夫！ドキドキとワクワクが入り混じった気持ちで登校しました。充実した3日間を過ごし、毎日その日あった学校での出来事について



下校後 JICAに戻って、引率の先生たちに今日あったことをうれしそうに話す研修員

楽しそうに報告し合っていた研修員たち。日本に同年代の友達がたくさんできました。前よりもっと日本が近くなった気がします。

お世話になった先生方、生徒のみなさん、一緒に過ごした日々を忘れません。本当にありがとうございました！

## 研修員の振り返りから

### 1日目

- ◇ さいしょはとてもきんちょうしました。でも入ってすぐにとくさんの女の子が話しかけてきました。すごくうれしかった。生徒たちはみんなやさしくてあかるかった。
- ◇ 日本語をよくれんしゅうできました。みんなが私に言ったことをときどきりかいてできなかった。
- ◇ 一番良かったじゅぎょうは数学でした。なぜなら先生はすごくやさしくて、れいせいに説明してくれました。
- ◇ 給食の時に、手を洗って食べました。とてもおいしかったです。でも時間がとても短かったです。
- ◇ 1日目だから、一人ぼっちの気持ちを感じました。
- ◇ 生徒たちと仲良くして、日本人のように過ごしました。休み時間にカードゲームをやって日本の学生のように感じました。
- ◇ じこしょうかいをしました。ちゃんとできました。学校のかえりもだいじょうぶでした。
- ◇ 明日はみんなともっと話して仲良くなりたいです。

### 2日目

- ◇ 今日はたくさんの人と話せて、新しい友達がたくさんできました。
- ◇ きのおよりべんきょうについてもっとわかりました。
- ◇ 今日はきのおよりもっと楽しかったです。なぜなら、みんなとなかよくできたし、ぶかつもとっても楽しかったです。
- ◇ 先生たちはみんなとても優しく親切でした。わからないことがあったら、近くの友達が手伝ってくれたり、助けてくれて、とてもうれしかった。
- ◇ みんなはソプラノとアルトにわかれて、全員で先生の指導を受けながら練習を行います。私は一緒に歌わなかったけど、みんなの歌声がとても綺麗で、すごく感動しました。
- ◇ 今日は新しい友達をつくりました。部活もたくさんほめられて、自信につながりました。あと一日頑張るぞ！

### 3日目 -最終日-

- ◇ 新しい友達とたくさん話すことができたので今日はすごく楽しかった。ブラジルにもどってもずっとみんなと話しつづけたい！そして、さいごのじゅぎょうで友達は私にプレゼントや手紙もくれました。たくさん泣いた！クラスのみんなを大好きになりました。
- ◇ 今日は、学校のさいごの日でした。ざんねんながら、学校の皆さんにさようなら言いました。やっとみんなとなかよくできました。ぜんぶのじゅぎょうがよかったです。みんなはとてもやさしいです。学校にもどりたいです。
- ◇ 日本の友達に会えなくなるので、とてもかなしくなりました。この3日間とても楽しかったです。
- ◇ 私は友だちを決して忘れません！
- ◇ 友達ははてがみを書いてくれました。私はとてもうれしかったです。みんなやさしくて、ほんとうにかんしゃしています。そこでとくさんのいい思い出を作りました。またいつかまた会えること楽しみにしています。
- ◇ さいごの日だったので少しかなしかったです。さいしょにびじゅつのはなをあげて、楽しかったので友達の絵を描きました。お別れでした。かなしかった、中学校の友達に会えなくてさびしくなる！
- ◇ 学校では体験したことないことが山ほどあって、すごく勉強になりました。素晴らしい経験でした。中学校に感謝しています！
- ◇ クラスのみなさんが寄せ書きしてくれた色紙をもらいました。本当にうれしかったので、みんなが教室を出たあと、黒板にメッセージを書いてから帰りました。
- ◇ 6時間目悲しくて、一人で涙をながしました。部活ではとても楽しく過ごせました。最後に全校生徒でトンネルを作ってくれたとき、しょうじきに日本で一番の思い出です。

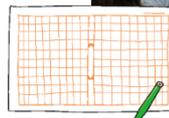


## 作文(国語、報告書作成)

2025年1月31日(金)、2月3日(月)

作文が研修員たちの報告書です。約1か月にわたる日本での研修を振り返り、いちばん印象に残ったことを作文に残しました。

今回の体験や学習を通して得たたくさんの気づきや自身の成長を言葉にするのはとても難しい作業でしたが、はじめに国語の授業を受け、感じたこと・考えたことの整理の仕方や作文の構成・タイトルの付け方などを教わり、なんとか下書き、清書へと段階を踏んで書き上げることができました。国語の先生以外にも、日系の先輩たちなど多くの方がヘルプに駆けつけてくれ、漢字や日本語での言い回しなどを教えてくれました。



### 研修員の振り返りから

- ◇ さくぶんはとてもむずかしい。よみたくなるさくぶんのためにきっと書き方がある。けど私はそれがわかりません。この1ヶ月間私はいろんなことをけいけんした。でも私のさくぶんできもちをつたえることができなかつた。日本語できもちをつたえることがとてもむずかしいからです。でもいま私はもっとべんきょうしたい、それからみんなに研修でけいけんしたことをつたえたい。
- ◇ つなぎのことはや書くためのよいセリフなどについて学びました。私の書き方がかなりもっと上手になったとかんじました。
- ◇ 私はあまり日本語を書くことはしょうじじゃないから本当にむずかしかった。むずかしかったですが、次はもっと自分の気持ちをつたえられるようになりたいです。私は今日からもっと日本語のことを頑張りたいです。
- ◇ 先生はみんなに「JICA研修でいんしょうに残ったことは何ですか？」とききました。みんなの話を聞いて、私は「あああ！それもやりましたよね、わすれていました。」と思ひ出しました。
- ◇ 私はあまり作文が好きじゃない、でも作文の作り方を学んだことは楽しかったです。
- ◇ 作文の書き方を教えてもらいました。僕は作文を書くのがとても苦手だけど、先生の説明が上手で、普段より簡単に書くことができました。
- ◇ 下書きを書き始めるのに、先生が丁寧に順番や、始め方、アイデアのまとめ方などを教えてくれて、とても勉強になりました。日系留學生がたくさん来て、手伝ってくれました。嬉しかったです。作文を書くのは大変で、すごく困ったけど、先生たちや友達が助けてくれました。いい作文が書けるように頑張りました。

## 研修修了の前日！！

2025年2月4日(火)

- いよいよ研修も修了。明日の研修員報告会の準備をしました。担当テーマをグループごとに選び、パソコンを使って協力しながらプレゼンテーションデータを作成。日本語での発表も原稿を見ないで言えるぐらい、満足の行くまで練習しました。
- また、帰国のための準備をしました。帰国当日のお部屋のチェックアウト方法や集合時間、ホテルの出発時間などを確認。預け入れ荷物や手荷物のルールを確認したあと、少し早いですが荷づくり開始！あと数日のあいだ使うものだけを残し、パッキングしました。愛着のわいたユニフォーム類…さいごに入れるためのスペースは空けておきます！

# 報告会、閉講式、送別会

2025年2月5日(水)

## 研修員報告会

今回の研修生活における学びと成果について、グループごとにプレゼンテーションを準備し、報告会で発表しました。

テーマごとに分担してグループ発表したあと、一人ひとりが「研修に来てから思ったこと、感じたこと、考えたこと」、「研修が終わってからやりたいこと」、「5年後の自分について」などについて述べました。



## 閉講式

閉講式では JICA 横浜センターの大野裕枝 所長より、この研修で感じた気持ちや育んだ友情を忘れずにこれからも日本語や日本について勉強を続け、日系社会のリーダーとして日本とみなさんの国、そして世界を結ぶ架け橋となることを期待しているとお話がありました。

つづいて、お世話になった中学校を代表し横浜市立本牧中学校の高橋秀吉校長先生からもご挨拶をいただきました。研修員へ温かいエールをいただくとともに「これからもずっと皆さんを応援しつづける」という心強いメッセージをいただきました。

その後、研修員一人ひとりの名前が呼ばれ、修了証書を授与。閉講式の最後には、研修員代表がこの研修をふりかえり、スピーチしました。



## 研修員代表スピーチ

研修生を代表して、ごあいさつをさせていただきます。  
このような大切な役割ができることをとても光栄に思います。  
日本で一か月を過ごす機会をいただき本当にありがとうございました。  
この一か月の間に日本の文化、歴史、社会について深く学び、日本の生活を体験できました。また、日本で新しい人と仲良くできて、他の国の文化についてもたくさん学びました。  
日本にきてはじめての経験がたくさんありましたが、絶対に忘れない日は新幹線に乗った日です。  
京都から戻るとき、窓から富士山が見えました。  
富士山を見たことがなかった研修員がほとんどでしたから、本当に感動し特別な思い出になりました。  
このような経験をさせていただき、JICA の皆様、海外日系人協会の皆様、中学校の先生方、ホストファミリーの皆様にご心より感謝申し上げます。  
一か月で学んだことや経験したことを今後の人生に生かし、私たちの国と日本の架け橋になれるように一生懸命頑張ります。  
本当にありがとうございました。



## 送別会

閉講式後、横浜市立港中学校の緒方浩臣校長先生に乾杯のご挨拶をいただき、全員で研修の修了を祝いました。

お世話になった先生方ほか、研修に関わってくださったすべての方への感謝を込めて、『世界に一つだけの花』の合唱をプレゼント。じつはさいごの数日、夜のミーティングで練習するたびに、気持ちがあふれて大泣きしていた研修員たち。今日は元気に歌うことができました。

お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。



中学校のみなさんに向けた  
寄せ書きをお渡ししました



何ごとにも前向き、積極的な36人！研修のはじめに書いた目標を十分に達成できたようです！24日間の研修生活で結んだ強い絆を胸に、それぞれの国へと帰路につきました。

国や地域や言語はちがうけれど生涯の仲間を見つけました。これからもつながり続け、これからの日系社会をリードして行ってくれるに違いありません。



2024年度 日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）第2陣

## 5. 引率者（安全・健康管理員含む）の所感

引率者 宮田 セリア（ブラジル/アラサツーバ日本語普及センター）  
安全・健康管理員 本多 由美（ボリビア/サンファン学園）  
安全・健康管理員 岩崎 海（アルゼンチン/フロレンシオバレーラ日本語学校）  
安全・健康管理員 足立原 ルミ（ブラジル/ロンドリーナ・モデル校）

生徒たちと過ごした4週間は、大変でありながらも楽しく刺激的な日々でした。様々な国、環境で育った生徒たちが夢いっぱいになり、盛りだくさんのこのような素晴らしい経験をして成長していく様子を目の当たりに出来たことは私たちにとっても、貴重な経験でした。

成長を感じた場面をいくつか紹介すると、まず振り返りシートの文章の上達があります。初日は、日本語で1、2行程度の文を書くのに30分以上かかり、様子も気持ちも伝わらない文を書いていた生徒でも研修が終わる時には、10行以上の文章を手早く書くことができていました。また、日本語の聞き取りやコミュニケーション力にも目を見張る上達を感じる事が出来ました。来日したばかりのころは、日本語で話す勇気が出せず、周りに頼ってばかりだった生徒が自分から日本語で話しかけている様子を見るのは、本当にうれしいものでした。日本という環境、そして切磋琢磨できる仲間が存在が大きかったと思います。

生徒たちの成長につながったと感じた瞬間は、生徒達だけで外出をしたときでした。これは日本という安全な環境だからこそ経験できたことだと考えられます。夕方のおでかけや休日の計画を自分たちだけで話し合い、下調べをして、実行するという自国では体験できないことをとても楽しんでいました。その中で、決まりを守る、時間を守る、自律性と協調性をもって行動する、自主的に取り組むなど様々なことが連動していたと思います。このようなことが経験できる恵まれた環境で研修ができたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、研修員たちの仲が良く、まとまったグループだったと思います。日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、得意な言語はそれぞれでしたが、友達になりたい、話をしたいという気持ちが大きく、それぞれがもつコミュニケーション力を駆使して誰とでも仲よくしようという様子が見られました。少々内気なお友達には声をかけて誘ってあげたり、さりげなく話しかけたりするという様子を至るところで見ることができました。本当に思いやりで満ちた素敵なグループだったと思います。

この研修で得た様々な経験と仲間との絆は、これからの研修員の人生に大きな影響を及ぼすと確信しています。引率者として、このような貴重な機会をいただけたことに、心から感謝申し上げます。

## 6. 総評

明治元年（1868年）、サトウキビプランテーションでの労働を目的としてハワイへ渡ったことから始まる日本人の海外移住の歴史は約150年の歴史を有しています。その間、米大陸各国、各地域の日系社会では日本語学校を中心にコミュニティを形成し、今日まで継続してきています。しかしながら、世代が進むにつれ、日本語学校に通う日系子弟の減少、日系コミュニティへの帰属意識の低下や日系アイデンティティの希薄化といった問題が顕在化し、日本とのつながりもだんだんと弱くなってきているのが現状です。

そのような現状に鑑み、本研修は、次世代の日系社会を担う人材育成の一環として、「日本人の海外移住の歴史に関する学習、その他各種研修を通じて自分たちのルーツ、日本文化、習慣等を学んでもらい、日本に対する理解を深めることで、自らの日系人としてのアイデンティティを強化すること」を目的としています。

1987年度より始まり約40年継続してきた本研修ですが、2020年度には新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、その影響から3年間に及び来日しての研修の中止を余儀なくされました。その間、このような状況下で日本語を学ぶモチベーションや本研修への参加意欲が低下しないよう日系子弟が同年代の日系人と共に日本文化や祖先の海外移住について学ぶことができる訪日研修に代わるオンラインプログラムを実施し、多くの日系子弟に学習の機会を作ってきました。しかしながら、各国の日系日本語学校からは、訪日研修への参加を目標に日本語学習に励んできた生徒たちにとって、長年の目標に挑むこともできなかったこの期間は、もどかしい想いを抱えた3年間だったとも報告されています。

こうしたコロナ禍を経て、ようやく昨年度より訪日研修が再開され、本年度は更に宿泊を伴うホームステイを実施することができるようになり、ほぼコロナ禍前の形式での研修を実施することができたことは次年度以降につながる大きな一歩であったと思料します。

本研修は日系アイデンティティの涵養を企図し、祖先に対する敬意の心を養うプログラム、日本とのつながりがあることに対する誇りを持ち、日本との絆を感じることができるプログラムで構成されています。前者が身近な家族の歴史を含む日本人の海外移住の歴史を学ぶ移住学習であり、後者が伝統文化体験や、中学校体験入学、ホームステイなどです。そして、次世代の日系社会を担う研修員が日本と居住国との相違、それぞれの良い点、悪い点に気づくことで、両国の発展に必要なことについて考える契機となるよう配慮してプログラムを運営しました。24日間という限られた時間の中、前述した移住学習をはじめとした様々な講義や体験活動を通じて、ブラジル、ペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチンから来日した研修員36名は様々な体験をし、新しい知識を吸収することができました。

研修員は、研修プログラム上だけでなく、同世代の仲間と集団生活を共にする中で時にはぶつかるようなこともありましたが、楽しい時間を過ごし、コミュニケーションをとる中でお互いを通して世界に広がる日系社会の存在や共通する価値観を認識することができたことも研修員にとって大きな財産になりました。本研修にこれまで参加した多くの研修員が、帰国後も本研修で出会った仲間たちとの交流が継続されていることや、その後日本への留学を果たしている者が多くいることから本研修を実施することの意義は大きく、本年度の研修員たちもこれまでと同様に日本語や日本的価値観、日系アイデンティティをベースとして日系人の強みや可能性を生かし、お互いのコミュニティを結ぶネットワーク作り、そして南米と日本との関係をつなぐ架け橋として活躍してくれることを期待しています。

2024 年度

「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）」

募集要項

2024 年 1 月



独立行政法人国際協力機構（J I C A）

# 目次

【研修の沿革および目的】 .....	1
【研修員】 .....	1
1. 対象国および受入計画数 .....	1
2. 研修概要 .....	1
3. 資格要件 .....	2
4. 所要経費 .....	2
5. 応募書類 .....	3
6. 応募書類の提出締切と提出方法 .....	5
7. 受入決定 .....	5
8. 研修員の資格取り消し .....	6
9. JICA横浜の施設利用制限 .....	6
10. その他 .....	6
【引率者】 .....	7
1. 引率者の招へい .....	7
2. 2024年度引率者選出国 .....	7
3. 資格要件 .....	8
4. 所要経費 .....	8
5. 応募書類 .....	9
6. 応募書類の提出締切 .....	10
【注意事項（研修員・引率者・ご家族の方）】 .....	11
別紙1 研修員 応募書類様式 .....	
別紙2 引率者 応募書類様式 .....	
別紙3 研修員・引率者共通 応募書類様式 .....	

2024 年度  
「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）」  
募集要項

【研修の沿革および目的】

本研修は、中南米地域等への移住者の定着・安定のために移住者子孫教育として 1987（昭和 62）年度に「日本語学校生徒研修」として開始し、2012（平成 24）年度からは、名称を「日系社会次世代育成研修」、2015（平成 27）年度からは「日系社会次世代育成研修（中学生招へいプログラム）」として実施しています。本研修では、海外の日本語学校に在籍する成績優秀かつ品行方正で将来の日系社会の発展に貢献するのに十分な素質のある日本語学校生徒が、日本人の海外移住の歴史に関する学習、中学校体験入学、ホームステイ、その他の各種研修を通じて、自分たちのルーツに対する理解と日本に対する理解を深め、さらに自らの日系人としてのアイデンティティの強化を図ることを目的としています。さらには、本研修が日系社会での日系継承語教育の振興を促し、日系社会の次代を担う人材の育成に寄与することを上位の目標としています。

【研修員】

1. 対象国および受入計画数

対象国：10 カ国

受入計画数：49 名（+引率者 8 名）

受入		対象国	人数
第 1 陣	5 カ国 13 名 (+引率者 4)	カナダ	4 名
		メキシコ	3 名
		ドミニカ共和国	4 名
		コロンビア	1 名
		ベネズエラ	1 名
第 2 陣	5 カ国 36 名 (+引率者 4)	ブラジル	20 名
		ペルー	4 名
		ボリビア	3 名
		パラグアイ	3 名
		アルゼンチン	6 名

2. 研修概要

プログラム	内容	研修場所
移住学習	海外移住資料館等の見学 移住に関する講義、ワークショップ	JICA 横浜 史跡、博物館等

	各研修員のルーツを探る	
体験入学	授業出席 部活動 日本の中学生との交流等	神奈川県内の中学校（予定）
ホームステイ	日本での実生活体験	各ご家庭（県は未定）
研修旅行	日本の文化・社会・科学技術等の理解	未定
その他	プレゼンテーション指導 作文指導 研修報告会	JICA 横浜及び周辺の会議室

【重要】実際の研修内容が上記から変更となる可能性があります。

(2) 研修期間（予定）：24 日間

第 1 陣：2024 年 6 月 17 日（月）から 7 月 10 日（水）を予定

第 2 陣：2025 年 1 月 14 日（火）から 2 月 6 日（木）を予定

3. 資格要件

応募者は、次の要件をすべて満たしていなければなりません。

(1) 海外移住者及び概ね日系 3 世までの海外移住者の子孫（※）であること。

※日本人移住者の血統を引く者を指します。

※本事業対象国に定住していること（主たる生活基盤があること）。

(2) 研修参加時点での年齢が日本の中学生相当（12 歳以上、15 歳以下）であること。

(3) 現地の日系団体が運営する日本語学校に在籍し、成績優秀、品行方正かつ将来の日系社会の発展に貢献するのに十分な素質があると認められること。

(4) 自分のルーツや日本に対する理解を深める強い意志があること。

(5) 心身ともに健康であり、本邦での集団生活に耐えられること。

(6) 来日から帰国まで JICA 指定の全日程に参加できること。

(7) 親権者の同意が得られること。

※共同親権が法制化されている国においては、全親権者の同意が得られること。

4. 所要経費

規程に基づき次の経費を JICA が負担します。（ただし、渡航便は原則、JICA の指定する便での渡航とします。）

(1) 指定する経路の往復航空運賃（ただし、航空券の現物支給とし、現金の支給は行いません。航空券取得に必要な税金等、国際航空施設使用料も JICA が負担します。）

(2) 本邦国際空港と宿泊施設間の移動に係る経費

(3) 乗継のための第三国での宿泊に係る経費

※自国内移動の際に生じる宿泊に係る経費は自己負担です。

※6時間未満の滞在は対象外です。

(4) 本邦滞在中及び乗継のための第三国滞在中生活費（食費）は、規定に応じて来日後に日本円で支給します。

※日をまたがない6時間以上の第三国滞在は対象外です。

〈支給額〉

1) 本邦滞在中 生活費 2,200 円/日 ※朝食及び夕食費として

(ただし、現物支給されない日のみ現金支給とする。)

2) 第三国滞在中 生活費 4,000 円/日 ※朝食費、昼食費及び夕食費として

(4) 宿泊施設の利用料金

(5) 海外旅行保険料

原則として、居住国の国際空港を出発した時から帰国した日の国際空港到着時点までが保険対象期間です。

※本邦到着後、保険証（メディカルカード）を配付します。

研修中の傷病については保険が適用され、原則診療費の支払は生じません。

但し、既往症や歯科治療は保険適用外です。

〈留意事項〉

各国の国内線利用区間は保険対象外です。必要な場合は各自で加入してください。

(6) 所外研修、中学校体験入学、ホームステイ、研修旅行のために係る横浜での滞在先と訪問先の間の日復旅費

(7) 研修先に対する研修経費

5. 応募書類

応募書類は以下のとおりです。

- ・作成の際は、2024年研修初日時点の情報を記入してください。
- ・JICA様式を使用してください。

(1) JICA様式

1) 日本語学校責任者推薦書

(様式第1号)

2) 身上書

(様式第2号)

・パソコン入力可。

・氏名（日本語）：

この書類に書かれた氏名表記（漢字・ひらがな・カタカナ）にしたがって、査証手続き書類を作成しますので、自筆の場合は読みやすい字で、渡航時に使用する旅券

に記載の表記どおりに記入してください。漢字・ひらがな・カタカナのどの文字を用いるかについても、注意してください。

・氏名（アルファベット）：

この書類に書かれた氏名表記（アルファベット）にしたがって、航空券の予約の確認等を行います。自筆の場合は読みやすい字で、渡航時に使用する旅券に記載の表記どおりに記入してください。スペル、名字と名前の順番、ミドルネームの有無にも注意して記入してください。旅券と航空券の氏名表記が異なると、搭乗できなくなります。

※旅券をこれから申請する方は、必ず旅券申請する氏名表記で記載してください。

旅券と査証、航空券の氏名表記が異なると、渡航できなくなりますので注意してください。

・国籍：渡航に使用する旅券に記載されている国籍を記入してください。

※国によって短期滞在査証が免除となる場合があります。詳細については JICA 事務所からの指示に従ってください。

3) 親権者の誓約・同意書

(様式第 3 号)

・サインは必ず親権者に書いてもらってください。

4) 病歴申告書

(様式第 4 号)

・パソコン入力可（署名は自筆）

・2024 年度より応募時は医師による健康診断書の提出は不要です。JICA 様式による自己申告です。仮合格者は、病歴申告書の記載内容によっては、医師の診断書の提出が必要になる場合があります。

・提出前に未回答項目や記入漏れがないか、確認してください。

・既往症、服薬中の薬、アレルギー等の持病も、必ず申告してください。

・現在治療を受けている疾患があれば、応募時に研修参加に支障がない旨の主治医の診断書も提出してください。

・既往症や服用中の薬、アレルギーがない場合も、記載内容によって主治医の診断書を提出していただく場合があります。

・研修期間中に既往症や持病が悪化した場合、国内医療機関受診時に発生する医療費は海外旅行保険適用外のため全額自己負担となります。

※本邦到着後、保険証（メディカルカード）を配付します。

研修中の傷病については保険が適用され、原則診療費の支払は生じません。

但し、既往症や歯科治療は保険適用外です。

※記入事項に虚偽があると判明した場合には、研修に参加できなくなる可能性があります。

(2) 写真 2 枚（データ可）

- ・最近 6 ヶ月以内に撮影したもの。（縦 4.5cm×横 3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名・国名を記入）

※1 枚は身上書に貼付け、もう 1 枚はデータで他の応募書類とともに提出してください。

(3) 作文（日本語）

- ・400 字詰原稿用紙 3 枚以内（1000 字程度）。課題は JICA 在外事務所が指定します。※応募者本人が自筆した作文を提出してください。

(4) 旅券の写し

5. (1) 2) 身上書に記載した、渡航時に使用する旅券の写しを提出してください。

①既に旅券を所有している場合

査証や出入国記録が残されている全てのページを提出してください。

②旅券を所有していない場合

JICA からの可否の通知を待つことなく直ちに旅券の取得手続きを開始してください。また、5. (1) 2) 身上書に記載した氏名表記を至急ご連絡ください。

※可否に関わらず、旅券取得経費については自己負担です。

(注) 提供された個人情報 は、①可否の判定、②研修受入の手続き、③事業実績の取りまとめ等に利用します。

6. 応募書類の提出締切と提出方法

(1) 応募書類の提出締切

在外事務所の選考スケジュールに従い提出してください。

(2) 提出方法

各在外事務所の指定の方法で提出してください。

7. 受入決定

応募書類を基に JICA 横浜にて最終選考を行い、仮合格通知を発送します。その後、外務省の短期滞在査証発給審査を経て正式に受入回答を行います。

## 8. 研修員の資格取り消し

研修員が次の事項に該当する場合、JICAはその資格を取り消すことがありますので、以下については、特に注意してください。

- 1) JICAの規則、指示及び決定に従わなかったとき
- 2) 研修先の規則に違反した場合
- 3) 日本国の法令に違反した場合
- 4) 本人の故意、重大な過失又は怠慢等により、研修を継続することが困難と認められるとき
- 5) 本人の都合により研修を中断したとき
- 6) 心身の障害、傷病等のために研修を継続することが困難と認められるとき
- 7) 応募書類の記載事項に虚偽が発見されたとき
- 8) その他 JICA が止むを得ないと認める事由があるとき

## 9. JICA 横浜の施設利用制限

2024年度は JICA 横浜の施設改修工事が行われているため、施設利用が制限されています。本研修プログラムは周辺施設にて実施されることがあります。

## 10. その他

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、研修プログラムの変更、または来日中止となる可能性があります。



- ・引率者（健康・安全管理員）3名・・・ペルー、ボリビア、パラグアイ、アルゼンチン

### 3. 資格要件

#### (1) 引率者（日本語学校教員）

- 1) 満20歳以上で、日本語学校での勤務歴2年以上であること。
- 2) 日本語学校での教師歴が2年以上あること。
- 3) 研修員と同年代の子弟を対象としたクラスを担当した経験があること。
- 4) 日本語能力は、1世の先生でない場合は日本語能力試験N2程度以上であること。
- 5) 健康で責任をもって業務を遂行できること。

#### (2) 引率者（健康・安全管理員）

- 1) 20歳以上の日系社会の関係者（日本語学校教員、日本人協会会員、JICA帰国研修員等）であること。
- 2) 日常的に日系社会で研修員と同世代の子弟と接している方が望ましい。（参加研修員の保護者は対象外）
- 3) 日本語能力は日常会話程度以上。研修員とスペイン語/ポルトガル語で意思疎通ができること。
- 4) 健康で責任をもって業務を遂行できること。

### 4. 所要経費

規程に基づき次の経費をJICAが負担します

- (1) 指定する経路の往復航空運賃（ただし、航空券の現物支給とし、現金の支給は行いません。航空券取得に必要な税金等、国際航空施設使用料もJICAが負担。）
- (2) 本邦国際空港と宿泊施設間の移動に係る経費
- (3) 乗継のための第三国での宿泊に係る経費  
※自国内移動の際に生じる宿泊に係る経費は自己負担です。  
※6時間未満の滞在は対象外です。
- (4) 本邦滞在中及び乗継のための第三国滞在中の生活費等は、規定に応じて来日時に日本円で支給します。  
※日をまたがない6時間以上の第三国滞在は対象外です。

<支給額>

- 1) 支度料 10,000円
- 2) 本邦滞在中 生活費：4,298円/日（食事の現物支給がない日。）

【内訳】食費1,100円×3食＋雑費998円

※現物支給がある日は、その回数に応じて差し引いて支給されます。

3) 第三国滞在中 生活費：4,000 円/日（朝食費、昼食費及び夕食費として）

※航空会社が手配したホテルに宿泊する場合、食事が提供されることがあります。その際は生活費が支給されないことがあります。

(4) 宿泊施設の利用料金

(5) 海外旅行保険料（往路・研修期間・帰路に係る期間。）

※原則として、居住国の国際空港を出発した時から帰国した日の国際空港到着時点までが保険対象期間です。但し、各国の国内移動区間は対象外です。本邦到着後、保険証（メディカルカード）を配付します。

研修中の傷病については保険が適用され、原則診療費の支払は生じません。但し、既往症や歯科治療は保険適用外です。

(6) 所外研修や研修旅行等に係る横浜での滞在先と訪問先のための往復旅費

(7) 研修先に対する研修経費

## 5. 応募書類

応募書類は以下のとおりです。

- ・作成の際は、2024 年研修初日時点の情報を記入してください。
- ・様式は、本実施要領とともに配布された様式を使用してください。  
※改訂されているため、過去の様式は使用しないでください。

### (1) JICA 様式

#### 1) 身上書（引率者用）

（様式第 5 号）

- ・パソコン入力可。
- ・氏名（日本語）：

この書類に記載の氏名表記（漢字・ひらがな・カタカナ）にしたがって、短期滞在査証の申請書類を作成しますので、自筆の場合は読みやすい字で、**渡航時に使用する旅券に記載の表記どおりに記入**してください。漢字・ひらがな・カタカナのどの文字を用いるかについても、注意してください。

- ・氏名（アルファベット）：

この書類に記載の氏名表記（アルファベット）にしたがって、航空券の予約の確認等を行います。自筆の場合は読みやすい字で、**渡航時に使用する旅券に記載の表記どおりに記入**してください。

※旅券をこれから申請する方は、**必ず旅券申請書に記入する氏名表記で記載**してください。旅券と航空券の氏名表記が異なると、渡航できなくなりますので注意してください。

- ・国籍：渡航に使用する旅券に記載されている国籍を記入してください。

※国によって短期滞在査証が免除となる場合があります。

詳細については JICA 事務所からの指示に従ってください。

2) 小論文（日本語または英語）

（様式第 6 号）

・パソコン入力可

※様式に記載されているテーマについて執筆してください。

3) 写真 2 枚（データ可）

・最近 6 ヶ月以内に撮影したもの。（縦 4.5cm×横 3.5cm、上半身、正面、脱帽）

※1 枚は身上書に貼付けてください。もう 1 枚はデータで他の応募書類とともに締切日までに提出してください。

4) 誓約書（引率者用）

（様式第 7 号）

5) 病歴申告書

（様式第 4 号）

・パソコン入力可（署名は自筆）

(2) 旅券の写し

5. (1) 1) 身上書に記載した、渡航時に使用する旅券の写しを提出してください。

①既に引率者が旅券を所有している場合

査証や出入国記録が残されている全てのページの写しを取り付けてください。

②引率者が旅券を所有していない場合

JICA 横浜からの受け入れ回答を待つことなく直ちに旅券の取得手続きを始めてください。また、5. (1) 1) 身上書に記載した氏名表記を至急ご連絡ください。

※旅券取得経費については自己負担となります。

6. 応募書類の提出締切

(1) 応募書類の提出締切

提出締切日は、貴国の選考スケジュールに従ってください。

(2) 提出方法

各在外事務所の指示に従ってください。

## 【注意事項（研修員・引率者・ご家族の方）】

### 1. 研修参加にあたって

- (1) 新型コロナウイルス感染等の影響により、研修プログラムの変更または来日が中止となる可能性があります。
- (2) フライトスケジュールは JICA 在外事務所が決定の上、合格者に連絡します。
- (3) 滞在延長や帰路変更は、研修員/引率者の自己負担であっても認められません。  
研修終了後は JICA が定めるスケジュールで帰国してください。
- (4) 原則として、往路・復路とも研修員が集合し、集団で渡航します。
- (5) 家族の同伴は認められません。

### 2. 仮合格通知受領後の提出物

#### (1) 肖像権および個人情報使用承諾書

本研修期間中、JICA が契約するカメラマン又は委託先が、広報（各種報告書含む）用として写真及び動画の撮影を行いますので、写真及び動画の使用目的等について確認のうえ、署名してください。研修員用と親権者用があります。

#### (2) 医師の診断書

- ・ 応募時に提出された病歴申告書の記載内容によっては、医師の診断書の提出が必要になる場合があります。
- ・ 応募時点で治療を受けている疾患があれば、応募時に病歴申告書に加え、研修参加に支障がない旨の主治医の診断書を提出してください。

### 3. 渡航準備

#### (1) 旅券

旅券を所持していない研修員と引率者は、早急に申請手続きを開始してください。

仮合格の連絡を受けてから旅券取得手続きを開始すると、査証取得が間に合わないおそれがあります。

※日本旅券を申請する場合には、戸籍謄本の取得等に時間を要します。

#### (2) 査証

- ・ 日本以外の旅券で渡航する場合

※査証は、日本の外務省で審査が行われた後、居住国の日本領事館に申請し、発給されます。国によっては短期滞在査証が免除される場合がありますので、JICA 事務所の指示に従ってください。

※身上書には、渡航時に使用する旅券に記載の国籍を記載してください。

#### (3) その他必要書類

- ・日本旅券で渡航する研修員・引率者については、居住国における身分証明書等、在住国に居住していることを示す書類等を、念のため持参してください。（原本の持参が難しい場合には写しを持参してください。）
- ・居住国や経由する国によって査証以外の書類（未成年者の渡航に対する親権者の承諾書等）が要求されることがあります。

帰国時、未成年の日本人が片道航空券で居住国に渡航するようにも見えるため、帰路の空港でのチェックイン時に航空会社から当該研修員・引率者が貴国に居住している（永住権・定住権等がある）ことを示す書類の提示を求められるケースがあります。

#### 4. 滞在中及び帰国時

- (1) 2024年度は JICA 横浜で施設の改修工事が行われています。
  - ・宿泊棟が利用できない場合、周辺の宿泊施設に宿泊します。
  - ・セミナールームが利用できない場合、研修プログラムは周辺施設で実施します。
- (2) 中学校体験入学の際、受入校の高校受験準備のため3年生（15歳相当）のクラスでは研修員を受け入れられないことが多く、15歳の研修員であっても中学1～2年（13～14歳相当）のクラスに入ることが多いですが、ご了承ください。

以上

#### 別紙1 研修員 応募書類様式

- ・日本語学校責任者推薦書（様式第1号）
- ・身上書（様式第2号）
- ・親権者の誓約・同意書（様式第3号）

#### 別紙2 引率者 応募書類様式

- ・身上書（様式第5号）
- ・小論文（様式第6号）
- ・誓約書（様式第7号）

#### 別紙3 研修員・引率者共通 応募書類様式

- ・病歴申告書（様式4号）